

京大リウマチ通信

第5号

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター



2012.01.10. 文責：橋本

皆さん、明けましておめでとうございます。

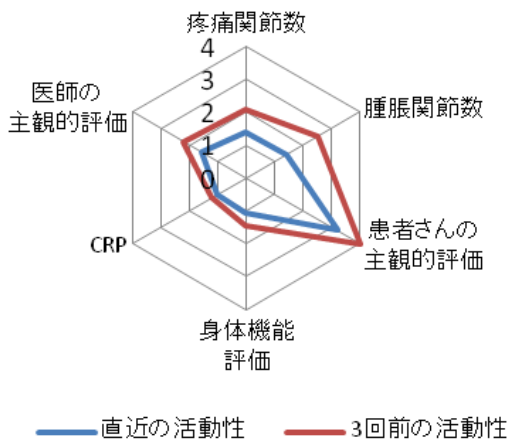
昨年開設された京大病院リウマチセンターも今年の春で1年を迎えます。患者さんとの絆を大切に、リウマチ性疾患の克服を目指していきたくと思っています。今年もよろしくお願いいたします。



「あなたのリウマチレポート」を発行しました

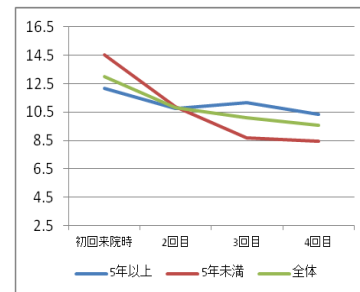
リウマチセンターでは、昨年末、リウマチセンターに通院されているリウマチ患者さんに、「あなたのリウマチレポート」を発行いたしました。これは、ひとりひとりの患者さんに、御自身のリウマチの活動性（病気の勢い）の変化（昨年5月～11月）をより理解していただくために、データをグラフで表したものです。今回は、この集計についてご報告します。

右のグラフは、リウマチの活動性を項目別に表したスパイダーグラフです。リウマチセンターに通院している患者さんの平均で示しています。3回前の受診日に比べて、直近の受診日では、スパイダーグラフが小さくなっており、改善が認められますが、患者さんの主観的評価（感じる痛みなど）の改善が、一番難しそうです。

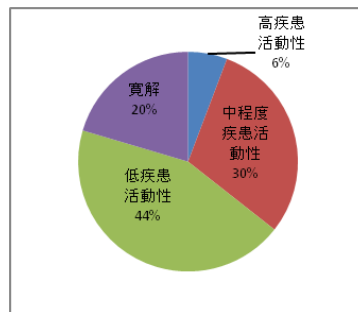


「あなたのリウマチレポート」の集計結果

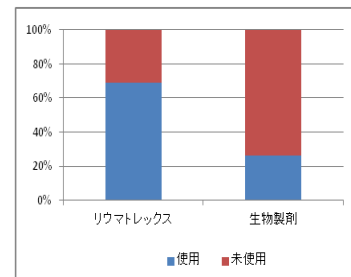
右のグラフは、リウマチの総合的な活動性を示す sDAI（用語については、リウマチ通信第2号を参照ください）が、月日とともにどう変動しているかを示しています。患者さん平均では、治療によりリウマチの活動性が低下していますが、発症後5年以内の患者さんは、発症後5年以上たった患者さんよりもより治療に反応しやすい傾向がありました。



なお、今回の調査で約2割の患者さんが、sDAIでは「寛解」（関節の腫れや痛みがほとんどない状態）と判定されました。ほか、4割が低疾患活動性、3割が中程度疾患活動性、1割が高疾患活動性に当てはまりました。リウマチセンターでは今回の調査結果を受けて、少しでも、「寛解」の患者さんが増えるように、患者さんとともに努力していきたいと考えています。



また、今回はお薬の集計も行いました。現在、リウマチ治療のアンカードラッグ（中心的となる薬）とされているメトトレキサート（薬品名：リウマトレックスなど）を内服している患者さんは、全リウマチ患者さんのうちの約70%（3人に2人）、また、近年新たに登場して、リウマチの進行を止めることのできる薬として注目されている生物製剤（商品名：レミケード、ヒュミラ、アクテムラ、エンブレル、オレンシア、シンポニーなど）を使用されている患者さんは、約25%に（4人に1人）であることがわかりました。これらの薬の使用と、リウマチの活動性との関係については、今後、検討していく予定です。





データ登録にかかる時間などの関係で、今回は、「あなたのリウマチレポート」の発行が間に合わなかった患者さんがおられます。リウマチセンターでは、定期的に（年に1回程度）発行を予定しておりますので、申し訳ありませんが、次回の発行までお待ちください。また、膠原病・整形外科に通院中のリウマチ患者さんへも、今後「リウマチ調査」などをおしてこのような情報を提供できるようにしていきたいと考えております。



第2回リウマチ教室を開催しました

平成23年12月14日に第2回リウマチ教室を開催しました。今回のテーマは、「関節リウマチの補装具」でした。

最初に、リウマチセンター布留先生から、リウマチの治療における補装具の必要性や体の各部位に対する補装具についての説明がありました。次に、作業療法士の山脇理恵先生から、リウマチ患者さんの「生活動作を助ける自助具」についての御紹介があり、その次に、理学療法士の田仲陽子先生から「日常動作方法と環境設定」についての御説明がありました。



角度の変わる包丁



電池式蓋開け

お箸や、包丁、缶の蓋開け、ボタン留めなど、日常生活を便利にするための便利でユニークな自助具や、住環境を住みやすくするための工夫が紹介され、参加者たちからも声が上がっていました。

最後に、各メーカーによる装具の相談会があり、参加された患者さんたちは、装具を手にとって見たり、実際に装具を体に合わせて測定してもらったりしていました。

今回は、22名のリウマチ患者らが参加され、盛況のうちに幕を閉じました。



ボタン通し補助具



布留先生による補助具の必要性の解説



理学療法士の先生による補助具の解説と紹介



第3回のリウマチ教室で取り上げてほしいテーマがありましたら、どうぞご遠慮なく主治医やスタッフにお伝えください。

診療受付時間

午前8時30分～午前11時00分



診察室	月	火	水	木	金
108号室	橋本		藤井	橋本	藤井
109号室		布留	伊藤	伊藤	

リウマチに関するご質問、「リウマチ通信」や「リウマチ教室」で特集してほしいテーマがありましたら、外来主治医または外来秘書にお気軽にお申し出下さい。



お問い合わせは…



京都大学医学部附属病院 リウマチセンター
代表電話 075 (751) 3111 予約電話 075(751) 4891
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54